京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金円五十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久伸一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社

雜錄

内外應酬

一記者

▲感情と金融 金は數字を以て其多寡を表はすものである、此の點は感情を以て左右することの能ざるは當然である。『加之親子の間にも金は別物』ぞと云ふ俚諺もある位である、随て金融には感情の影響を忌み、唯數字が敎ゆる處に縋れ滯らんとするのである、去り乍ら吾輩は此處にも亦感情の加味を必要とせる「物の道理」を發見するのである、

抑も理性の判斷は連續的に、否らざれば飛石的に理路を辿ることを以て正當とせらるゝ、然るに若し或者が其中道を遮斷したならば理性の働きは此に於て先づ中止せられ而して障碍物の排除さるゝを待たねばならぬ、但し障碍物排除に向つての努力は別事業である、因て障碍排除し得たる時に更に理性の活動を開始せねばならぬ、併しながら理路は連續し或は飛石的に走ることを以て必要とする、然るに障碍物排除の爲め經過したる時の經過は最早や飛石のられに比すべくもあらざる間隔を生じてゐる、斯る時其間隔を補綴するものは感情である、玆に極めて手近かなる一事例を提供しやう、

明治三十八九年の交、世の中の景氣の好かりし事は今も世人の追懐を甘き夢と結ぶのである、其後不景氣の風吹き荒みて商工業の沈衰は其極に達し、資金も勞力も剩すべき何者をも贏ち得ざる狀態である、然かも人は『成らぬ辛抱』をして景氣恢復の秋を待つ、サテ其の待つ人を待たるゝ氣運とは強ち沒交渉では無い、然る氣運の到達を待つ間の努力即ち之れを致すのであるが、努力其のものを理論が生みたりと爲す者あらば夫れは牽強附會の言である、勿論景氣恢復の後ちは種々の理屈も附くであらうが、現下の『成らぬ辛抱』は感情を土臺とするのである、斯くの如く感情を經濟界に於ても理論を補綴して其の働きを完ふするの力を有するものである、然らば金融と感情との關係は如何、

前に述べたる如く金融には感情の影響を忌む、フワーシングをも有せざる者にはフワーシングをも貸す者無しといふ、西諺がある、之れは理性が倡ふる處を感情が挾む言であるが、金融の狀態は正に此の通りである、韓國に手形組合なるものがある、組合員の財産の多寡に依り手形振出の額を査定して其査定額以内の約手には組合が證明を與へる、爲めに其約手は銀行に於ても又個人間でも安心して割引きをして居るのは世人の熟知せる處で、理論上此の業を不可とする者は無い筈である、併しながら此の間に感情は頭を擡げ、問題は此に起る(此稿未完)

旅順開放の時期

(本月中には發表)

旅順港開放の議は我政府の方針既に決定し小村外相も亦た今春議會に於て之を聲明せるに拘はらず今に其發表を見ざるは何等行惱みの事情あるにあらずやと臆測する者あるも今ま外務當局者の語る所によれば右は着々進行中にて現に今日に於ても事實上旅順港は開放しありて自由に船舶の出入を許しある尚未だ海軍省令として施行されをる旅順港規則の改正せられざるため出入毎に鎭守府司令長官の認可を受けざるべからざる制裁ありて隨つて絶對に開放されたる譯にあらざるが最早滿鐵に於て築造せし假棧橋も竣工し又た外務海軍兩省當局者の打合も終りたれば遲くも本月中には其發表をなしいよ〳〵開放の實を擧ぐるに至るべき筈なり而して其開放の形式は前記旅順港規則中の改正を行ふに止まるものなりといふ或は旅順の開放は滿洲協約に違反すべきことを懸念する者あるも既に露國時代に於て開放の計畫あり又た清國政府に於ても此際別に抗議を挾さむ模樣なければ我當局者に於ても着々豫定の計畫通り本月中に開放する筈なりといふ

滿鐵輸出の增加

滿洲產穀物にして毎年歐洲方面に輸出する物は主として豆類なるがその輸出高は年々增加して千九百七年より同九年迄の統計を見れば滿洲產穀物にして滿洲を經て海路歐洲に輸出せらるゝ物は千九百七年三百八十萬封度なりしも同八年には增加して七百六十万封度となり同九年には千四百万封度に增加するに至れり

●滿洲柞蠶糸の好調 滿洲方面に於ける柞蠶の價額は近來非常に騰貴し即ち平年一千粒に付銀一圓三十錢内外なりしものが本年は二圓三十錢攝みに取引せられ連れて柞蠶絲の價格も百斤に付金四百五十圓なりしものが一躍六百圓となり現今八百圓内外なり絹絲との値開き僅かに二百圓に過ぎざる摸樣となれり是は畢竟主として歐米輸出向の激增したると共に一方從來柞蠶織は卓掛窓掛等の裝飾品としての需用に過ぎざりしものが近來にては婦人用の衣服原料として盛んに取引せらるゝに至れる爲めならん尚ほ大體の趨勢より推測すれば滿洲柞蠶糸の取引は今後とも各方面に發展し斯くて相場は好調に維持せらるゝならんかと

●賊魁延起羽の部下 去る十一日午前零時三十分頃永平分遣所の憲兵上等兵は補助員三名を卒ひて暴徒搜索中同郡東面柳洞里(永平邑を距る東南四里)に於て賊魁延起羽の部下に在りて暴惡を恣にしたる延成七の卒ひる七名の賊と衝突し激戰十分間にして延成七を殪し一名を逮捕したる由にて捕虜の言に依れば目下朔寧地方に居る延起羽の命に依りて永平地方へ金品の徵發に來りしものなりと云ふ

地方電報

平壤通信

▲給水販賣請負 平壤水道事務所にては城内に三十ヶ所城外に十五ヶ所總計四十五ヶ所に建設したる公設共用給水栓の給水方法として嚢に給水規則第一條第五項に基づき區域を定め販賣人を設け一般需用者に供給せしむる旨發表したる結果昨年以來給水販賣人請負に關し請願書を提出したるもの十數名に上りしも去る十一日内部訓令第三九號を以て共用給水に關する取扱手續制定せられ同時に給水販賣人入札心得及び同給水販賣契約案等も發表せられたるを以て水道事務所にては以上諸願書は全部却下し新訓令に基き請負入札を以て該販賣人を定むることゝし不日請負入札を執行する筈なるが其の給水販賣人たるべきは城内に於ては韓人城外に在りては日本人に許可するものなりと云ふ

▲四十一回民會終了 十三日午后八時本會議開會の筈なりし平壤民會は出席議員定數に充たざりし爲め流會となり更に十四日午後三時より開かれ先づ協議會を開き次で本會議に入り第六號議案民團稅賦課額確定の件は等級制に多少修正を加へて決議し第七號議案四十三年度民團戶別稅等級額確定の件は特等四百圓を二百八十圓に修正可決し他は原案通り可決し之れにて第四十一回民會は閉會となれり

▲黃州の穀物相場 黃州に於ける昨今の穀物相場は裸にて白米九圓六十錢、小麥七圓二十錢、綠豆七圓六十錢、小豆五圓九十錢何れも品相當にあり又粟は三圓六十錢大豆は六圓にて品なく取引なし粟は黃州の特產なるを以て品澤七圓四十錢にて取引あり尤も已に端境の時期に入りたる事とて二月下旬頃に比すれば出廻鈍し同地の穀物は兼二浦經由鎭南浦に送るものと直接鐵道便によりて釜山へ送るものとの二方面あり一時安奉線へ向け輸送せるも昨今は小口の輸送あるに過ぎずと云ふ

俳句

△春五句 多田千春

炉ふさいて月花の窓開きけり

木綿着の氣は錦なり初袷

草餅や塗たかと見る大藥鑵

茶の味は知らねど茶摘み男哉

着奢りの人に見せたし蠶時

日本銘刀傳

第九十四席 法城寺正弘(十六)

邑井一講演

規「ヘエ 甚「夫れが一番だ、彫物師は迚も往かねへ、れ前のやうな者で斯うやつて居て、濱野規安の伜だと謂はれると、れ父さんの名を落してしまふやうなものだ、夫れよりは何か商賣替をした方が宜からう、併し餘計なことを云ふと思つたら、夫れまでだが、大道商ひも嫌だ、面を晒すのは嫌だと思つたら、寧そ死んで仕舞つた方が一番早いけれども、れ前には腹を切ることは出來まい、矢張ブラ下るんだ、圓は惡いけれどもブラ下つてれ仕舞ひ 規「ヘエ有難う存じます 甚「阿母さんは年寄のことだから、私が引受けてやる、後に心を殘さずに死んでれしまひ 規「有難う存じます 甚「ブラ下つて死なうとも商賣替をしやうとも、二つの内何方でも宜い方にするが宜い 規「ヘエ」と規隨は淚を一ぱい目に溜て、表へ出て行きました、若狹屋の內儀は側に聽いて居りましたが 妻「れ前さん何だつて彼樣酷いことを云ひなすつたので、可哀想に若い者が淚を溢して表へ行きました家へ歸らないで途中にドンブリとでもやつた日には大變だ 甚「ナー大丈夫だ、那の男も規安の子だ、骨を折つてやれば、出來ないことはないんだ、仕事が嫌ひだから仕方がねへ、氣が附いて仕事を初めれば、親父の半分位は出來る、今に何とか又云つて來るだらう」と若狹屋甚兵衛は氣にも止めずに居りました、此方は規隨の阿母、伜の歸りが遲いから、何うしたかと案じて居ります處へ、茫然として歸つて參りました 母「れ前何うしたへ、顔色が惡いが、何うかしたかへ、大層遲かつたね 規「西の久保の姉さんの處へ行つて、種々な話をして居たので遲くなりました 母「アゝそうかへ、そんなら案じることもなかつた 規「阿母さん、藪から棒に此樣なことを云つては濟みませんが、去年から友達が相談をして、無盡が二十兩取で、誰が當つても其の金を半分宛引いた、男は伊勢へ行つて來なければ人間になれないと云ふ位ゆゑ、伊勢參宮をしやうと思つて居たので、今度建具屋の喜八さんが當つた處が、此れ金を家へ置くと無くなるから、直ぐに行くと云ふので、品川で揃つて伊勢參宮をして、序に四國へ行つて、金比羅樣へ參詣をして來やうと云ふので阿母さん、濟みませんが歸つて來るまで、西の久保の姉さんの處へ、當分行つて居て下さいまし 母「規隨、れ前嘘をれ吐きでない 規「イゝエ嘘ではございません 母「夫れでも無盡の出來た話しも聞かせないで、今日そんな事を云ひ出したのは、何か理由があるだらう眞正のことをれ云ひ、世間の親のやうに、決して泣いたり笑つたりするやうな私ではありません、何うしたんだへ規隨 規「ちやア阿母さん、れ話を致しますが、今日若狹屋の旦那の處へ、金物を取りに行きました處が、彼の旦那のことだから、例もの通り二朱で買つて與れまして、夫れから言惡いが話しをする、何だ彫物師を罷めて、貴樣のやうな者は濱野規安の伜だと云ふと、親父の顔を潰すやうなものだから、寧ろ死んでしまひ、死ぬつたつて腹を切るやうなことは出來まいから、ブラ下つてしまへ、細引がなければ一本持つて行けと云うので、種々意見をして下さいますから、夫れから西の久保の姉さんの處へ行つて、其話しはしませんが、阿母さんを當分引取つて下さいと話をして來ました、誠に濟みませんが不器用な規隨だ、親不孝な者だと思召して、諦めて下さいまし、れ父さんの名を落すと言はれては、私は一日も生きて居られません、此處でれ別れを致します 母「先から其譯に話しをすれば分つて居る、男が一旦思ひ込んだことは、決して途中で止めることは出來ないものだからブラ下つてれしまひ 規「ヘエ、ブラ下りますか 母「だつてれ前ブラ下る氣ぢやアないか 規「ちやアッロ〳〵ブラ下ります 母「少しれ待ち、私が宜い鹽梅にして上げるから」氣丈なれ阿母さんがあるもので、素麵箱を持つて來て、夫れを顚倒して、細引を出して天井の梁へ掛けました」

東京電報

▲潜水艇の行衛不明

(歴山)丸第六號潜水艇を率ひ廣島灣に出動中十五日午後十時同沖合にて作業中母艦歴山丸に別れ佐久間艇長以下十四名潜水の儘浮揚せず宮島に假泊中なる第七驅逐艦以下四艇は吳鎭守府所有船與丸に引揚器具を積載して何れも十六日午前九時捜索の爲め急派したるが當局者は何故か秘密に附し居れり(十七日)

▲首相の統監訪問

桂首相は本日片瀬に曾禰統監を訪ひ懇談する所ありたり(同上)

▲我領事館破壞さる

長沙の暴動は既電の如くなるが暴徒は我領事館を破壞するに至り我領事纔かに脱るゝを得たり(同上)

▲長砂暴動の猛烈

湖南長砂村岡領事の報告左の如し 當地暴徒は益々猛烈衙門教會學校等續々燒拂はれ危險迫りたるを以て城内居留民は領事館及び日清汽船會社に收容する筈なりしも午後四時頃に至り附近に火災起り巡撫より立退を勸告し來り保護に力及ばずと申出でたるより重要書類及び館員家族一同を引纏め午後五時頃僅に身を以て逃れ居留民を汽船に收容し今晩入港の湘江丸を待て(?)り領事館には監視人を殘し兵士保護しつゝあるも立退後暴徒闖入し全部破壞せられたりとの報あり暴徒が各汽船會社税關等を燒拂ふとの風說盛んにして秩序紊亂戰場に異ならず英國領事及各外國人も本日漢口に引揚たり(同上)

▲伏見艦の長砂急行

長沙の暴動益々猛烈なるを以て我が政府は第三艦隊に命じ伏見艦を同地に急行せしめたり(同上)

▲工兵隊の大演習

本年度擧行の陸軍工兵大演習の計畫は過般來教育總監部に於て起案中の處愈々來る十月下旬第四師團大坂附近に於て擧行する事に決定せり(十八日)

▲官吏の旅費增額

政府は官吏の旅費規程を改正し奏任官宿泊料一圓五十錢を二圓五十錢に日當一圓を一圓五十錢に勅任官宿泊料二圓を三圓に日當一圓五十錢を三圓に增額すべし(同上)

▲司法官の大淘汰

司法省は今回判事六十名檢事十七名を淘汰するに決定し夫々内交渉を爲したるに大多數は應じたるも六七名は構成法の明文を楯として斷然交渉を拒絶したり向は退職者に對しては大に優遇する方針にて增俸して恩給の增加を取計ふべしと(同上)

▲潜水艇沈沒の慘狀

行衛不明となりたる潜水艇六號は軍艦豐橋驅逐艦五隻と共に捜索の結果其の所在を發見し引揚げ中なるが同艇は海底に半身を突き込み沈沒し居れり

▲能登輪島の大火

石川縣能登國鳳至郡輪島町河井町より失火折柄西風強く消防効なく全市に延燒して一千二百十六戸、土藏三百四十七棟納屋百四十六戸計一千七百七十九戸を燒き同町を全燒して翌十七日午前四時鎭火せり負傷者三十余名を出せり(同上)

▲議院敷地と庭園

貴衆兩院の敷地は麹町永田町首相官邸附近に確定し居れるが建築の際には山王神社を公園とし同山下低地一帶を取入れ美麗なる庭園を築造する筈なり(同上)

▲潜水艇の引揚げ

沈沒の六號潜水艇は昨夜吳軍港に曳き來り本日ドックに入れ内部の檢査を爲せるが乘組員は何れも悲慘の最後を遂げ居たり(同上)

上海電報

▲巡撫暴徒に殺さる

長沙の暴徒激烈にして巡撫衙門燒拂はれ其の際巡撫は重傷を負ひて十五日逝去せり(十七日)

北京電報

▲攝政王邸に爆彈

攝政王邸に爆裂彈發見後攝政王は萬一の危險を慮り永く參内歸邸せられざりしも嚴重なる警護の下に數日前漸く歸邸せられたるが更らに去る十六日又同邸内より二個の爆裂彈を發見せり爲めに宮廷の震駭一方ならず

▲爆烈彈と嫌疑者

攝政王邸に二度目の爆烈彈發見後北京政府の狼狽は非常にて軍機處は全力を擧げて犯人の搜査に着手したる結果本日嫌疑者として馬夫に扮せる革命黨員を逮捕し攝政王自ら審問し居れり

歐洲電報

▲前大統領の演說

米國前大統領ルーズベルト氏は四月二十三日巴里のボールボンヌ大學にて又四月二十八日白耳義ブラッセル博覽會にて演說を試むべき旨通知せり

雜報

▲韓皇親耕の準備

今年も粟黍等の播種期に達したる以て韓皇及皇后には近々各部大臣宮内府大臣等を隨へ申田に行啓の上盛大なる親耕式を擧行する筈にて目下準備中

▲勸業の施設事業

地方費支辨の學校施設事業の關係は既報の如くなるが地方費を以て施設すべき勸業上に關する事業にして今日迄に確定したるもの左の如し

漢城府	農事講習會	四八〇
京畿	養蠶傳習所	一、四五〇
忠北	蠶絲農場	八、九六二
同上	物産陳列場	二〇〇
忠南	農具使用傳習	五五〇
同上	農事講習	五〇〇
全南	水産講習	三〇〇
同上	農事講習	二〇〇
慶南	物産陳列場	四〇〇
同上	普通農事講習	七二九
黃海	蠶業講習	四〇〇
同上	林業講習	四〇〇
同上	物産陳列場	六〇〇
同上	農林講習所	五、七五二
平南	農事試驗場	四、一二七
同上	養蠶傳習所	一、六四四
同上	製織講習	九三三
同上	物産陳列場	二六二
平北	物産陳列場	四七〇
咸南	養蠶傳習所	二、三三四
同上	農事講習會	七四四
咸北	農事試驗場	二五〇

安東縣と新關稅

架橋協約の結果、清國政府は鴨綠江橋の北部に税關を新設することゝなりしに付我が當局者は該税率に關し更らに清國政府と協定する筈にて目下調査中なり、蓋し清國内に於ける特殊の税關は佛領安南に接する清國領及び哈爾賓の二ヶ所にして、此等の關稅に勿論有力なる參考となるも、此外大連經由の貨物に就ても精密なる調査を遂げ以て其均衡を保たざるべからざる事情あり旁た此點に就きて愼重なる研究を要すと

二師團の幹部員

後任駐韓軍第二師團幹部は左の如し

師團長	陸軍中將男爵	松永正敏
參謀長	步兵大佐	市川堅太郎
參謀	騎兵大尉	吉田源次郎
副官	步兵少佐	岩井勘六
同	步兵中尉	井原齊
法官部長	理事	柴生甲鐵猪
軍醫部長	一等軍醫正	中川十全
獸醫部長	二等獸醫正	篠崎雅太郎

尚ほ龍山駐屯軍は步兵大佐飯島鎬氏の率ゆる六十五聯隊なりと

李首相の溫泉行

李首相は負傷後の健康兎角勝れず今尚は登廳執務する能はざる有樣なるが醫師の勸告を容れ近く溫陽溫泉に靜養すべく内定なりと

松永中將の着期

新駐韓第二師團長松永中將は來る二十一日着任する豫定なりと云ふ

趙農相は渡日せず

觀光團一行と共に渡日すべかりし筈の趙農相は都合に依り之を中止したりと

●教科用書修正事情

前年學部の編纂に係る普通學校用教科書は急遽の間に編みたるものにて偶々多少の缺陷なきにあらざるを以て學部は昨年中國語及漢文に字句の修正を加へたるが今又理科書を修正したり其の要點は從來の同書は日本の平假名を使用したるが斯くては讀み惡き嫌あるを以て片假名とせしたると實業思想の開發迷信打破を旨とし學問的よりも寧ろ實際に重きを置きたるなり而して各地方の私立學校より之れが購買を申込むもの續々たるは理科に關する思想の進歩したるものにして最も喜ぶべき現象と云ふべし次に高程度用教科書としては目下韓國地理へ編纂中なるが同書は頗る浩瀚のものにあらざるも從來の所謂地理書とは其の撰を異にし數葉の地圖を附したるものにて五月末日を以て發行の筈なる地理書としては今日の處先づ完全のものなりと

●報償金總會の再會

國債報償金問題に關する總會は既報の如く十六日京城商業會議所に開催せしが該金處分に關し議論沸騰し結局銀行設立と學校設立との二案を採出したるに大規模の特殊學校を設立せんといふに決したり當日の付議案件は各地方に散在せる醵金額の整理及十三道の代表者探定等なるが枝葉の處分問題に就き斯く喧囂を極め數時間を費せる爲め肝腎の付議案件を決定する能はず故に引續き十八日再會せり

●韓銀貨幣發行週報

一、銀行券總發行平均高(自四月十日至四月十六日) 一三、二四五、一六〇

内正貨準備發行高	五、〇六七、二一四
保證準備發行高	八、一七七、九四六

二、銀行券平均手許有高 七四三、一〇二

三、銀行券市場平均流通高 一二、五〇二、〇五八

四、硬貨發行額(四月十六日現在)

内金貨二十圓	六、二四八、四三〇
同 十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九二〇、五〇〇
同 二十錢	一、四三一、五〇〇
同 十錢	九五八、五〇〇
白銅貨五錢	六五五七、一〇〇
靑銅貨一錢	二六〇、一六五
同 五厘	八〇、六六五

●入學勸誘と幻燈會

公立平壤普通學校にては生徒勸誘の目的を以て去十日及十二日夜幻燈會を催ふせしに來觀者數百名に達し其珍奇なるを嘆賞し頗る盛會を呈せり觀察使及び郡守も特に出席し大成學校生徒をして普通教育の必要及國民の強弱は教育の有無に關する至大なるを以て進むで入學し又家庭と學校との連絡を計るべき旨演說せしめたるに其効果著し

●時事新聞押收さる

時事新聞第八十四號は治安に妨害ありとして去る十七日押收せらる

●農商工部員遠足

農商工部の有志四十八名は十七日の日曜を卜し城壁一週を企て午前九時出發西昌門より始め仁王山の巍巖奇峭を攀ぢ一日の清遊を恣まにし五時半和樂園の傍にて散會

●鐵道吏員の別宴

龍山民團にては這回韓任若くは休職となりたる岡鐵道局營業課長、石川技師其他の爲めに送別會を開かんため目下準備中なりと

●民團豫算の認可

京城居留民團四十三年度豫算は一二科目に異動ありし外總金額は全部申請案の如く認可さる

●俵次官の仁川行

俵次官は十七日家族同伴下仁し轉地療養地として居を山手町なる元宮館警視宅にトしたりと

●倶樂部と木曜會

仁川倶樂部及び木曜會は今回合併するに決したりと

經濟小言

▲東拓及び滿鐵重役の或者等を現官の儘任用したるは任命當時の事情并を必要としたるが如くなるも實は露國式を眞似たるに過ぎず。

▲露國の現官の儘主義は東方經營に於て失敗の因をなせり、而るに我之を學び自ら失敗の因を作らんとする者に似たり、見ずや現官の儘主義は各重役をして自家が官吏たるか將た實業家たるかを判別するに迷はしむるを。

▲名前丈にても官吏なれば官吏服務規律を無視する譯には行かず、之れが爲實業家としての活動上受くるところの不便尠からず、加之本人等をして常に後方何物かの逃場所あるが如く思はしめ其從事する會社と運命榮辱を共にするの念を薄からしむ。

▲聞く頃は我政府部内に東拓及び滿鐵より現官の儘主義を撤去するの議ありと、果して而らんか記者は其實行の一日も早からんことを希望して止まず、何となれば之れ各重役を活かす所以にして同時に會社を近世化する所以なればなり。

▲曾禰統監曾て龍商某をして仁川大連間に石炭船を航海せしめ、定期船線開通の準備をなさしむと唱す、圖らざりき不言實行の本家茲に不言不實行に終る、而かも記者は病める統監が食言せりとは云はず。

▲滿韓の近距離貿率極めて高く昨年來韓人乘客の減少夥しと傳へらる、記者は韓人の便利と鐵道收入增加との爲に今後近距離韓人運搬の目的を以て貨率極めて安き韓人專用三等車を運轉せんことを勸む、鐵道當局記者の見を實行するの智ありや否。

農事視察旅程

東拓

東洋拓殖會社より郡主面長實業家等を農事視察の爲め渡日せしむるは既報の通りなるが其旅程を聞くに來る卅日京城發一日福岡着共進會農事試驗場を視三日福岡發岡山に着し兒島灣埋立地岡山市附近果樹栽培の狀況を視六日岡山を發し加古川に着し附近農事(共同苗代、排水工事)石守村耕地整理、同信用組合を視八日加古川を發し明石着農事試驗場及び園藝部を視九日明石發大阪に着し市內、天王寺府立農學校、柏原農事試驗場畿內支場を視十一日大阪を發し京都着市內、蠶業講習所を視十三日京都發大垣に着し途中滋賀縣甲賀郡造林事業を視附近輪中水利事業、三川分流工事を視十五日大垣發名古屋に着し盤江家農場(牧畜)綠寶機械排水工事、瀨戸町砂防工事原製糸場共進會を視十九日名古屋發岡崎着蘇東耕地整理、新川町同、明治用水路、農學校を視二十一日出發歸國の途に就き三日京城歸着の豫定なり

憲兵司令官の巡視

既報の如く憲兵司令官陸軍中將谷田文衛氏は憲兵練習所副官たる憲兵中尉千々和種助氏を隨へ十八日釜山着視察日數約一ヶ月の豫定を以て韓國駐剳憲兵隊巡視日割は左の如し

十九日大邱分隊を視察し二十日大邱發天安着二十一日天安分隊視察二十二日天安出發平壤着二十三日平壤分隊視察二十四日平壤出發新義州着二十五日新義州分遣所視察二十六日新義州出發京城着二十七日二十八日兩日は京城憲兵本部を視察し二十九日京城憲兵隊視察三十日本町分遣所視察五月一日鐘洞分遣所視察二日京城發仁川分遣所視察同日仁川出發京城着三日京城出發釜山着同日同港出發海路五日元山着六日元山分遣所視察同日元山出發七日咸興着八九兩日は咸興分隊視察十日咸興出發海路十三日釜山着同日同港出發十五日東京着

以上の如くなるも都合により變更する事なるべし因に今回の視察は韓國のみにして滿洲の地方には赴かざる由

民團税の横領金

目下拘四中の京城民團醜吏に關する横領金額は曩に監督官廳の調査によりて大畧判明せしが今其金額を聞くに左の如し

證書僞造額	五百六十圓五十一錢
不明金額	二千七百八十一圓四十七錢
計	三千三百四十八圓九十八錢

尤も檢事局に於ける彼等の自白は僅かに五百餘圓にして證書僞造額と相同じきも無論不明金額も費消せしものに相違なく而して裁判所に於ける審問程度は豫審中のものと檢事局調査中のものとに別れ進行中なりと云ふ

木越中將の歸期

師團長會議に出席の爲め得京中たる木越第二師團長は來る廿二日歸任の豫定

●日韓實業家運動會

朝鮮日報主催の日韓實業家大運動會は豫定の如く十七日獎忠壇に於て開催されたり日曜かに風清く翠綠滴る山腹には金色燦爛たる黃金櫻咲き亂れ得も言はれぬ風光自ら人を醉はしむるの趣きあり會場の設備は飽迄周到を極め十數の模擬店此處にも彼處にも又數基の餘興舞臺には衣香扇影扇々として舞ひ時に春鳥天に冲して相和し相囀づるあり更に競爭場に觀れば十數番の趣向面白觀事は滔々として次きから次ぎと演せられ拍手の音宛然豆を煎るが如くなりし正午式を擧げ同社長戸叶薰雄氏主催者として左の挨拶を述ぶ

極て突嗟の催にも不拘斯く多數の贊成を得空前の盛會を呈せるは洵に光榮とする處なり思ふに實業は國家存立上の基本なれば此機を以て大に日韓兩者の親密を計り奮鬪生活の慰安を悉くされん事を望む云々

右挨拶に對し古城民長は吾が實業家を代表し漢城府尹張憲植氏は韓國側實業家を代表して答辭を述べ中村商業會議所會頭の音頭に和して日韓實業家萬歲朝鮮日報萬歲を各三唱し夫れより幹部員一同本部前に整伍して紀念寫眞を撮影したり當日市中の各商店は甚三分の一は閉店休業して出席せる程なれば街衢の寂寞喩ふるに物なし其反動は擧げて會場に現はれたるを以て來會者は無慮二萬餘と算せられ空前の盛況なりき

●新舊師團長送迎の宴

新舊師團長送迎の爲め居留地の有志相計り來る二十三日午後六時三十分より京城ホテルに於て送迎の宴を催す由なり

●米國總領事長官訪問

米國總領事ダールド氏は十八日午前統監府に石塚長官を訪問しロ氏滯在中の厚意を謝する旨の挨拶ありたりと

●いゝいゝいゝ

●齊藤勇三氏出發 入京中の海軍主計大監の同氏は十八日出發平壤に向ふ

●師團副官の歸任 第六師團副官商少佐は東上中の外一昨十七日歸任せり

●小川事務官歸京 南共進會出張中の小川農商工部事務官は十八日歸京す

●庵原課長の歸任 朝鮮海水産組合役員會臨席の爲め去る五日より釜山に出張中の庵原漁政課長は十七日歸任す

●大浦通譯官東上 仁川理事廳大浦通譯官は一昨十七日出發東上したり

●小池主事の出張 名古屋共進會事務に農商工部小池主事十九日出發の筈

遊廓問題眞相(續)

(本社龍山支局報)

藤野議員は語を繼ぎて曰く、予は前陳の見を以て本問題に臨みたりと雖ども固より遊廓なるものは他の營業と異る點あり隨て綿密なる注意を拂ふべき多くの要件あり遣も亦予の意見を定むるに當りて決して遺忘せざりし事を言明し置くものなり即ち理論は理論として之れに遵據せざる可からず而かも事實は事實として又必ず參酌するを要するが爲めなり去りながら勸農會社對畑澤左衛門氏間の金錢貸借問題の如きは事實問題たるには相違なきも予等の立場としては餘りに深く立入るべき事柄にあらざるべし民團理事者としても同樣なるべきを惜む然るに民長が之れが爲めに民會を延期したるが如きは予の甚だ不滿とする處にして當時予は自ら事に激して平地に波瀾を起すを好まざれども此の事件は他日或は社會の物議を招くなきを保せず萬一爾る事の起りし場合には龍山居留民會の體面上默止する能はざるに至らんかを虞るとの意を或者に洩せし事あり尚民會延期の當日民長は調査委員を料亭東屋に招きて相談會若くは持議會とも稱すべき會合を催せしが予も參會したれども遺憾ながら杯に手を觸るゝことをだに爲さずして引取りたり而後の成行は世人の知る處の如し然れば民長が決議案を聽聞案に變更して如何なる結着を見るべき乎に就て注意を怠らざるべし本問題に關する投書は日々數通の多きに上り中には民長が横貫鐵道期成同盟會の委員として東上したるは所謂敵本主義に出で其結果民長は既に現位置に戀々たるの要を認めず爲めに今回の如き莫迦々々しき行動を爲すものなりなど頗る皮肉なるもあり世評斯の如し民長たるもの愼むで事を處し公人の責務を明かにすべきなり記者も亦事件の成行に依り稿を更めて報道する處あるべし(完)

▲治外法權▼

曾禰統監が辭表を出したさうだとか出さんとか、何んとか彼んとか滅法日本では騷いで居るが一体何んの爲めに騷ぐのであらふ、曾禰さんが光洲號に乘つて仁川を出發した時にモウ何にもかも判かつて居る筈だ、そんな事よりモ一つ大問題は八重の方の身上であらふ▲釜山民團側の事に就ては再三記載したが其都度釜山の二新聞は辯解に努めた、處が再發の本欄記事に就ては何等の手答へがない、理事官から叱かられたのか、それにしては餘りに氣の毒だ▲義州の共進會見物團は當地を通過して福岡に向つた、近く又東拓の農事視察團も出發する樣子京城日報の觀光團も出發準備に忙はしい樣だが聞く處に依ると會員が段々中止するそうだ、今一つ韓人新聞の時事新報とかゞ發表した觀光團はドウなつたか其後何んの音沙汰もない▲大隈伯の國民讀本を一寸見た苟くも日本國民たる者は貴賤老若の差別なく必讀の書と思ふ何れ精讀の上重ねて▲十七日の日韓實業家運動會は實に當地に於ける空前の大盛況で隨分雜踏も甚しかつたが遂に一つの爭論さへ起らなかつた、矢張り實業家が現社會では一番眞面目で而かも溫順だ▲同業朝鮮新聞の家事博覽會も十六日南大門に發會式を擧げた、當日の入場者は學校生徒を除いて約六千とは先づ以て大成功と言ふ可きである。

名妓洗髪のれ妻（二）

▽奈良原さんと合乘で
▽金子邸をたゝき起す

尤も私は誰方か知りやうがわりませんのに、其方が私の俥の呼止めて、コワ／＼お前さんは何處の妓だねと國訛丸出しの武骨さ、私は驚いて丁つたのですが、箱屋が此れ／＼で今度桝田屋から二代目小妻で出ました妓、只今其披露目に歩いてをりますのです、何卒又御贔負にと云ふと、左樣か可愛い妓だ、俺が贔負にしてもやる、さあ乘れ今から俺が披露目に連れて行つてやらうといふので、河岸で客待の二人乘をれ呼びになつて、披露目の途中から奈良原さんと**合乘**で其足で花家さんへ御挨拶といふ變な披露目なんです、花家さんでも面喰つたでせうよ、さうして直ぐ奈良原さんに連れられて紅葉館へ行つたまでは宜う御座んしたが、其れから大變難理大臣の**官舍**へも行けば、今考がへても私は未だに何處だつたか知りませんがね、何んでも內幸町邊りでした、斯う椅子が大層並んで大きなテーブルを控へて驥のある立派な方々が何か會議でもなすつてゐらしつた處へ迄連れられてまわり、一々奈良原さんが此別嬪は斯う／＼した妓で、二代目の小妻だ、贔負にしてやれ／＼といふので皆さんに**御紹介**下さつたのですが、然う斯うしてゐる內に、夜が更けて了ひました▲七草の夜、大寒の時節ですわ、戸外は凍れに凍れ、れ月樣は冴へ切つてゐる、コテを塗つた白粉の顔にれ濠の水面を撫でゝ來る寒風がヒユと當ると、身柱からゾク／＼寒むさが身に染みて、齒を喰しばつてゐても身體中がガタ／＼顫へて來るのですが、奈良原さんは元氣なもの其上浴びるやうに召上つたれ酒の勢ひで、矢張私と合乘でさ、內幸町の其分らぬ家を出て**金子**堅太郎さんの官舍へまわりましたが、もう夜中ですもの、表の御門はピタとばかり締めてありますのを、コウ／＼奈良原だ／＼と云つては拳で破れんばかりに叩いてゐらつしやる、小妻れ前も叩けといふので、私と若衆とも手傳つてやう／＼開けて貰ひましたが、奈良原さんてば、實に夫れは／＼**亂暴**な方でしたね西郷従道さんなんかも、俺の怖ろしいものは**蛇**と**奈良原**だと云つてゐらしつた位で、今の梅幸が榮三郎時代には大の御贔負でしたわ▲夫れで誰れでも飯田町の御邸へ伺ふと、れ酒が始まるのですが、誰れだつて奈良原さんのれ對手は出來ないものですが、差したれ杯を受けないたつて御承知なさらないですから、皆が受た**酒**をソツと**疊**の上で**覆**すのです、杯洗が出てゐないのですもの、斯うでもしないと遣り切れないのですが、立派なれ疊はれ酒の**汚點**だらけといふ有樣、夫れでれ醉ひになると誰方を捉へてもナンチウ面か馬鹿な面、と仰言る、聞いてゐてれ氣の毒な思を度々しましたがね、奈良原さんとは斯んな事で私も其宅へ泊り切りでしたがね、日本橋の小花さん小清さんなんかも始終れ宅へ伺つてゐたといふ有様でしたわ

辯護士藤井氏宅の亂暴

▽韓國ゴロの大亂暴
▽韓人被害者ゝ告訴

當時黄金町一番戸に居住する山崎英夫と云ふは一定の職業を有せざるも韓語に精通せるを惡用し韓人を籠絡して三百的類似の行爲をなし常に中流以上の生活を營み居る者の由なるが、最近の彼れが醜行爲に就き聞き得たる所を記さんに、京城南部翠洞居閔丙澳が曾て平壤府尹たりし當時義州內城新洞居朴性根なる者に公私となく種々便宜を與へたることあり、然れば朴性根も之れを德とし居れる由を聞き込みたる山崎は例の甘言を以て遂に朴性根を說き伏せ共謀して閔が財產を捲き上げんと二人連れ立ち丙澳を訪問し、自分等今般合同して平壤に日韓貿易會社を設立し大活動を開始する都合なれば以前よりの厚誼に五千圓丈けを出金し呉れまじきや、成立の曉には五割十割の配當は受合なりと木に餅のなる甘い話に丙澳も遂に其の氣になり、英夫が取り出したる出資契約證に調印したるは昨年初めの事なりしが、然るに右契約書なるものは其の實五千圓の手形なること警視廳刑事の探知する所となり朴性根は引致拘留せられたるにぞ、斯くと聞きたる山崎はスワ一大事一思案なかるべからずと直ちに丙澳を訪れ、萬一貴君性根の事に關し喚問せらるゝ際には斯く／＼應答せられたし、然らざれば貴君の爲めにも惡しかるべしと威喝し附け、猶は本事件終了迄貴家の法律顧問たるべしと申入れたるにぞ、時世に晒き丙澳は其の對應に應じ性根の事件に付去る頃檢事局に呼び出されし際も亂て山崎が吹き込みたる通り應答せしより事件は遂に不起訴に終りたるにぞ、性根山崎の兩人は我が事成れりと打喜び、性根は早速韓人辯護士洪在祺に依頼し丙澳に對し該手形に基き債務履行請求の訴を起したるこそ不敵なれ、斯くと聞きし丙澳の驚きは一方ならず木尾辯護士に依頼し抗爭したるも、事件の解決に最も有力なる山崎の證言は性根の利益のみなれば結局敗訴すべき様なるより、閔は更に去る十四日長男腐基をして藤井辯護士を訪問せしめたるに、其の際山崎も來合せたるより腐基は其不都合を詰りたるに、無法の山崎は生意氣な此のヨボ奴と摸り倒したるにぞ、腐基は直様醫士の診斷書を添へ十五日京城地方裁判所へ告訴の手續きに及びたりと云ふ

女振り

產婆 伊集院かね子

先き頃明治町から永樂町へ移轉せられたが間もなく又々水標洞へ移轉し、此度又更に中署寺洞へ引き移られた原因は一度は都合善く、一度は都合惡く、此度のは御主人伊集院君が宮內府は內苑課動物園へれ勤めになる都合からである、京城に於ける產婆中では隨分の古顔の方である、矢張り御主人の勤務上の都合から初めは仁川本願寺下邊で開業して居たのだが、伊集院君が京城測候所へ轉じられたので京城に來られたので、以後の轉變は即ち前述の通りである、十六の女のれ子さんを頭に五人の兒持ちである、技術も善し、氣質も淡泊した方であるが、玄の入白で納音が塔の上の土さある丈けに少々れ高い處がある、無頓着な所があるかと思へば頗る神經質の處がある、親切なかと思ふと輕薄な所がある、要するに浮氣性なのであらふ、御主人伊集院君は頗る温和な人であるが此れはかねヽ子君の女振りに關係は少ない、かね子君不相應に山氣があるので何うも失敗する、家も新築したが直ぐ手放した、電話も掛けたが直ぐ賣つた、三池つる代君其の他二三人の同盟罷業を語らつて何んとやら學校を興さうと試みたが失敗した、彼の大きな體格の何所やらに才氣は滿ち充ちて居る、が、しかし圓熟しない、若いから無理はない、と云つて居る。夫れもモウ三十六歳である。產地は九州鹿兒島縣。

英韓人共謀詐欺

▽六千坪を詐取せんとす

西部龍山坊青坡一契十六統五戸朴宰來（三九）は○○會社長**英國人**某と結托して**宮內府**所管地**六千**坪を詐取し他に**賣却**せんとしたる事を西部署の刑事に探知せられ目下同署に於て嚴重に取調中なりと、之れに付きて我か社は探知せる所あるも事豫審中に屬すれば詳細は後日に讓る

鐵道一人心中

▽苦も樂も一夜の夢や……

けしの花……と洒落れて……

十六日午後八時五十分發京釜線下り列車人樣々の想を載せて古市町鐵橋を龍山方面の十間程の所を駛走中、朧に霞む月影を背らに佇む者ありしが矢庭に身をば躍らして軌道の中に飛び込みて、闇魔の廳の御迎ひ鬼が挽くなる火輪車の轍の錆と消ね失せたる男と云ふは、原籍は山口縣豐浦郡黒井村當時本町十丁目番戸不詳木下蓋一（四〇）にして、彼は昨年四月より六月迄本町一丁目裏通り五十九番戸請負業村田九一方の雇人となり一時は帳場を與り居りしも、例の淫賣買ひより主人の金錢を費消したる爲め解雇せられたる後は一定の住所もなく諸所徘徊し居る內、弱り目に祟り目昨年暮より惡性の梅毒に罹りたるも元來より貯へとても無ければ醫藥の料もなく日に重態に陷り行き、到底全快の見込みもなきに遂に浮世を果敢なみて桃李の散るに先立ちて自から其の壽を縮めたるなりとか、猶は現場には表面にかきのこしいヽしたのみ狀として傍に『木田九一郎殿方には電話九五八もあり』と記したる書狀一通あり其の全文を記さんに

かきのこし（原文の儘）

私儀も已なく變死す官の御厄介を蒙り何とも申し難く事に候決して法律違犯の點は無之ち病難の爲め斯る境遇に相迫り申候間御臨檢相濟み候上は死体はダシカ旭町二丁目も即ち韓妓町に土木建築請負業村田元一殿へ御照會被成下度願上候

村田樣へ申上候　甚だ申上兼候得共火葬の上頭骨少し郷里黒井村木下ハナ事宛御心配ながら御送附方願上候

苦も樂も一夜の夢やけしの花

希は西本願寺さんへ御經讀願上候

南無阿彌陀佛／＼　木下蓋一

と虫の宜い書き置きと云ふべし、傷部は見るも無慘にして右足小腿骨は全部壓傷し前頭骨に約一寸五分後頭骨約三寸を粉碎され、警官臨檢の際は僅かに呼吸しつゝありしも檢視中絶命したりと云ふ、而して西部署に於ては右遺書に基き死体を村田元一に引き渡さんとしたるに同人は引取るべき理由なしとて拒みたるも說諭の上同人をして引き取らしめたりと云ふ

●轉轍手同士の爭鬪

▽洋刀にて重傷を負しむ

鹿兒島縣士族鐵道轉轍手重久茂（十九）は十六日午前八時頃同縣平民島中重四郎（二四）と南大門驛構內轉轍手詰所に於て勤務上の事より口論を起し、茂は殘念に思ひ懐中より洋刀を出し重四郎に突つ掛け左胸部に重傷を負はしめ目下西部署に留置取調中

●韓人の贓物故買

仁川花町二丁目古物商森田戸助方に去る十四日午後一時頃一名の怪し氣なる韓人入り來り高貴織男羽織十二圓位を携へ來り賣却せんとするより、不審に思ひ其出所を詰りたるに某日本人より勞力の代りに得たるものなりと申立て爲渡便を催すとて戸外に向ひ風を喰つて逃走せしかば、此旨仁川署に訴出で取調べの結果該羽織は宮町一丁目九三番小川常夫の盗難品と判明したりと

●例の無錢飲食

仁川外洞客主関重植方に一昨日午後七時頃岡山生れの日稼業濱田宇一（三三）と云ふが入り來り十二錢五厘に價する飲食をしながら持合せなしとの事に其筋に訴出でられ、取調べの結果同人は數日前開城より仁川に來りたるものにして未だ就業せず、隨て收入の道もなく飢餓に迫りての此仕儀と判明せしが、件の客主は之れを聞きて憐れを催ふし該代金は彼れに與ふる旨申出でしにぞ將來を戒めて放還

●銅峴管內の出火

四月十六日午后二時半より銅峴管內南署豆毛坊德十里洞十統八戸金武獎の息子與得五が自家の雛下に於て燐寸を持ち遊戲中發火し附近六戸を全燒し損害二千五十圓に上りたりと

●小使小使を傷く

碑洞曹成中學校小使朴泰鎭（二二）は同李錫範（四四）を仕事上の事より爭鬪の末刀にて重傷を負はしめたるより中部署に引致取調中

●唐花牡丹咲朝顔

此牡丹咲は某貴顕の大秘藏品にして花の直徑四寸八分花瓣百瓣以上盛上咲恰も薔薇の花の如し、總日澗ます本朝無二の絶品なるを以て岡山縣邑久郡長船農事試驗場は是れを一般へ配布すべく、希望者は送費袋代として切手十錢を送れば其他大阪朝顏界の秘品東京朝顏界の秘品等二十種花名花良栽培の注意を一々袋に記入し何人にも無代配布する由

●朝顔種子の分與

朝顏の培養は頗る趣味多き者にて都鄙一般に好適し年々旺盛となる、而して今や之れが播種の好時期は來れり、茲に於て若し此種子を得んとせらるゝ方は大阪市南區天王寺大道三丁目松澤淳水へ宛て郵券五錢を添へて申込まるれば朝顏の混合種子を分與せらる

市井雜聞

●ボヤ● 十六日午後四時盤松坊椿政洞韓基東の前庭に於て附近の兒童が火を弄び居る內積み置きし草に燃へ移り屋根に傳火したるも附近人民にて消し止む

●喧嘩● 四月十六日午前九時本町八丁目に於て花園町老岡町良太郎（四五）は南部臨洞郭永瑞（五五）と何か賃金の事より喧嘩口論の末峰洞分遣所で說諭で事濟み

●是も● 南部五官洞四十一統四戸韓福順（三七）は十六日午後十時頃筆洞分遣所前に於て永樂町二宮松太郎方雇人島田一郎（十六）と喧嘩した末同分遣所で說諭

●是も● 拐も本日は喧嘩說諭の多いこと、花園町三番戸大工兒玉豊松（三二）酩酊して南部樂善坊小仁鶴八夫李致文と喧嘩して同所に於て嚴しく說諭放還

●横領● 仁川萬石町住大工長川直平は去十五日宮町二丁目加藤嘉作の子供が金一圓十二錢を遺失せしを拾得隠蔽せるを探知せられ横領罪として仁川署へ

今日の運勢

四月十九日舊三月九日　九紫　大安　甲寅　鬪

△一白　失錯多し新事見合せの事色情酒害を戒しむ
△二黒　仕官就職相談諸願等効有り賣買貸借取引等進んで利有らず
△三碧　順調の日なり去れども急突の行爲効なし近親若くは家庭に煩累あらんとす
△四緑　靖の日なり但し披露名弘め旅行命名及び祝典を擧ぐるに凶
△五黄　平静の日なり大抵吉過失により什器を破損する勿れ
△六白　新事見合せの事但し建築動土改革整理及び遠國に關する業務に吉
△七赤　逆潮の日新事見合の事盗害遺失防ぐべし
△八白　盛運の日とす相談就職依頼請願の進行を始むるに吉、誘惑に陷ゆる勿れ
△九紫　窮厄の日なり礦山金銀の事には凶出帆旅行見合すべし

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

四月十六日ヨリ電車運轉時刻左ノ通リ改正致候也

明治四十三年四月

電車運轉時間改正廣告

線名	出發地	初電車	終電車
東大門西大門間	東大門	午前六、〇〇	午後一一、三〇
	西大門	午前六、二五	午後一一、五五
龍山線	鍾路	午前六、一二	午後一一、〇〇
	龍山	午前六、一二	午後一一、〇九
麻浦線	西大門	午前六、三〇	午後一〇、〇〇
	麻浦	午前七、〇〇	午後一〇、三〇
東大門外	東大門	午前六、〇〇	午後八、二〇
	清凉里	午前六、二〇	午後八、四〇

日韓瓦斯電氣株式會社

廣告

各位益々御清榮奉賀候陳者弊店江湖御得意樣の御引立を蒙り御蔭を以て日に月に隆盛に赴き候段深く奉謝候何卒今後とも倍舊の御愛顧奉希上候就ては來る四月六日は當店主渡韓十五周年に相當し六月十一日恰も當京城へ入京の當日に有之候間聊か自祝を兼ね紀念の爲め右期間内左の方法に依り抽籤を以て景品付大賣出し致候に付何卒賑々敷御來店の榮を賜り度此段奉希上候

一、景品總金額二千圓
一、景品券は御買上金額二圓毎に一枚を呈す
一、景品券進呈期間は四月六日より六月十一日迄とす
一、抽籤は六月十一日正午廣告しある各新聞記者並に御得意樣三名の御立會を乞ひ日本人商業會議所樓上に於て施行す
一、景品券引換期間は六月十三日より同三十日正午迄弊店に於て引換可致候以後は無効とす

一等　白米（五斗入）五十俵　三百圓
二等　十八金金側時計　一個　百三十圓
三等　竹内鋼鐵六號金庫　一個　百十圓
四等　純金四匁指環　一個　二十八圓
五等　朱珍丸帶　一本　五十圓

六等より九等迄　總桐東京簞笥　各一個　三十圓
十等、廿等、卅等、四十等、五十等　竹内鋼鐵八號金庫　各一個　五十五圓
六十等、七十等、八十等、九十等、百等　十四金女持金側時計　各一個　五十圓

十五等、廿五等、三十五等、四十五等、五十五等、六十五等、七十五等、八十五等、九十五等　上等御召　各一反　十八圓

十一等より十四等まで　仙臺瓶掛　各一個　十二圓
十六等より十九等まで　本セル　各一反　八圓
廿一等より廿四等まで　姿見　各一個　六圓
廿六等より廿九等まで　白米（五斗入）　各一俵　六圓
卅一等より卅四等まで　絹張洋傘　各一本　五圓
卅六等より卅九等まで　手提金庫　各一個　四圓
四十一等より四十四等まで　蒸氣アイロン　各一個　三圓五十錢
四十六等より四十九等まで　掛時計　各一個　三圓
以下空籤なし

五十一等より五十四等まで　手提金庫　各一個　二圓
五十六等より五十九等まで　[illegible]
六十一等より六十四等まで　鐵瓶　各一個　二圓
六十六等より六十九等まで　水差　各一個　一圓八十錢
七十一等より七十四等まで　南部銅子五德　各一個　一圓四十五錢
七十六等より七十九等まで　釣錢　各一個　一圓
八十一等より八十四等まで
八十六等より八十九等まで
九十一等より九十四等まで
九十六等より九十九等まで
百一等より二百等まで　桐箱入紀念茶　各一組

和洋金物商

京城本町五丁目
藤本藤次郎本店
長電話四十五番　振替貯金口座韓國二五六番

内外科
花柳病
入院　隨意

京城南大門外
電話九三八番
戸田病院

御披露

大世間祝に春めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粹樣方には一山越へて新町遊廓は解語の花に戯れ玉ふ年中の好季節になりましたので後朝の別れを惜み歸へらせ玉ふ粹樣方の御便宜を圖り今回美をつくし清を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サッと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粹をぬきたる一品料理を調へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと

○親子丼（上等三十錢）
○鰻丼（上等三十五錢）

何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉强老舗御好みに應じ數々の内藝妓も侍らせて御興を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれば隔てなき御友達又は御家族打ち連れての御光來を偏に奉願升

大和町三丁目
電話七三五
梅の家

廣告

民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證劵、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
買債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應ず
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事、訴訟事件
右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ

京城旭町二丁目百四十五番戸
堤重四郎法律事務所
鍾路典獄後洞廿一統六戸
同　鍾路出張所

金魚各種
卸小賣

龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）
陸軍御用達
馬木勇吉本店
電話三六四番

京城本町五丁目一番戸角
茶器商
馬木勇吉支店
電話四七一番

東京火災運送保險株式會社

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●
京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九番
事務所　京城南大門通二　電話一〇六〇番

特約販賣自製

味噌醬油製造元
漬物問屋

大上商店

京城本町五丁目
（電話二五一番）

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し

貴族御用
日本三大化粧品

クラブ白粉の特色

クラブ白粉はクラブ洗粉と姉妹化粧品にして顔に有効の原料のみを用ひて精製したる純良品なり殊に本品は鉛毒を有せざる良品にして彼の炭酸鉛の如きは毫も配合せざるを以て之れを無鉛トイレットクラブ白粉と稱す

クラブ歯磨の特色

クラブ歯磨は醫學上歯牙に有効なる原料を合理的に配合せり故に歯牙の衛生と其の成美及び口中の快感等總ての點に於て他に比類なき特色を有す

クラブ洗粉の特色

クラブ洗粉は皮膚に用ゆれば衛生美身術に適合し頭髪を洗へば其垢を去り光澤を添へ同時に秀絶なる芳香を保つ殊に素顔の美を發輝するに缺く可からざる美身料なり

營業科目

宮内省御用品調達

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

發託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山鑛業合資會社鑛物特約

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目（電話二〇三番）
出張所　東京十番地　京橋電新　南大門通新橋　一町一丁目二九六二

京城明治町二丁目（佛國教會前）
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
ものしみぬきかけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋
主任　島田嘉吉

本店開業拾五ヶ年祝

弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン」懐中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも御直段にて販賣することゝ相成從って各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也　敬白

瑞西タバン懐中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛置時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計御商　喜多金光堂本店
京城本町二丁目（電話一〇一五番）
時計御小賣　喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三一八番）
右特約店　金化堂時計舖
京城本町四丁目角
右特約店　中村時計店
各地方より御注文は發送實費申受候

韓國銀行

電話（長）一、三三二、三六〇、三二一　本店用
電話（長）一、六三二、一一一　當直用
電話一、三三二　度係用
電話二六　來客用
臨時建築部用

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣、

爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、釜山（以上日本）釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州（以上韓國）大連、（淸國）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候